

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【公開番号】特開2008-205693(P2008-205693A)

【公開日】平成20年9月4日 (2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-37799(P2007-37799)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/92 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月29日 (2010.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のフレームレートで撮影された第 1 映像データを、前記第 1 のフレームレートよりも低い第 2 のフレームレートの第 2 映像データに変換する撮像装置から出力された前記第 2 映像データを受信して、当該第 2 映像データの再生処理を行う映像再生装置であって、前記撮像装置は、前記第 1 映像データを前記第 2 のフレームレートの前記第 2 映像データに変換する際に適用したフレームレート変換方法の種別を示す変換情報を前記第 2 映像データに付加し、

前記映像再生装置は、

前記第 2 映像データを受信する受信手段と、

前記受信手段で受信した前記第 2 映像データから前記変換情報を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した前記変換情報から、前記第 2 映像データが前記第 2 のフレームレートに変換された場合に適用されたフレームレート変換方法を特定する特定手段と、

前記第 2 映像データに対して高画質化処理を施す画像処理手段と、

を有し、

前記画像処理手段は、前記特定手段で特定されたフレームレート変換方法に対応するパラメータを用いて前記第 2 映像データに対する高画質化処理を実行することを特徴とする映像再生装置。

【請求項 2】

第 1 のフレームレートで撮影された第 1 映像データを、前記第 1 のフレームレートよりも低い第 2 のフレームレートの第 2 映像データに変換する撮像装置から出力された前記第 2 映像データを受信して、当該第 2 映像データの再生処理を行う映像再生装置の制御方法であって、

前記撮像装置は、前記第 1 映像データを前記第 2 のフレームレートの前記第 2 映像データに変換する際に適用したフレームレート変換方法の種別を示す変換情報を前記第 2 映像データに付加し、

前記映像再生装置の制御方法は、
前記第2映像データを受信する受信ステップと、
前記受信ステップで受信した前記第2映像データから前記変換情報を取得する取得ステップと、
前記取得ステップで取得した前記変換情報から、前記第2映像データが前記第2のフレームレートに変換された場合に適用されたフレームレート変換方法を特定する特定ステップと、
前記第2映像データに対して高画質化処理を施す画像処理ステップと、
を有し、
前記画像処理ステップでは、前記特定ステップで特定されたフレームレート変換方法に対応するパラメータを用いて前記第2映像データに対する高画質化処理を実行することを特徴とする映像再生装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】映像再生装置及びその制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、映像再生装置及びその制御方法に関し、詳しくは、撮像装置でのフレームレート変換方法の情報を取得し、当該フレームレート変換方法の情報をを用いて、撮像装置が生成した映像データに対して最適な高画質化処理を行う映像再生装置及びその制御方法に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、撮像装置で行ったフレームレート変換方法の変換情報を映像再生装置に伝達することによって、映像再生装置が高画質化処理効果的に行うことを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上述した課題を解決するために、本発明の映像再生装置は、第1のフレームレートで撮影された第1映像データを、前記第1のフレームレートよりも低い第2のフレームレートの第2映像データに変換する撮像装置から出力された前記第2映像データを受信して、当該第2映像データの再生処理を行う映像再生装置であって、前記撮像装置は、前記第1映像データを前記第2のフレームレートの前記第2映像データに変換する際に適用したフレームレート変換方法の種別を示す変換情報を前記第2映像データに付加し、前記映像再生装置は、前記第2映像データを受信する受信手段と、前記受信手段で受信した前記第2映像データから前記変換情報を取得する取得手段と、前記取得手段で取得した前記変換情報

から、前記第 2 映像データが前記第 2 のフレームレートに変換された場合に適用されたフレームレート変換方法を特定する特定手段と、前記第 2 映像データに対して高画質化処理を施す画像処理手段と、を有し、前記画像処理手段は、前記特定手段で特定されたフレームレート変換方法に対応するパラメータを用いて前記第 2 映像データに対する高画質化処理を実行する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明の映像再生装置の制御方法は、第 1 のフレームレートで撮影された第 1 映像データを、前記第 1 のフレームレートよりも低い第 2 のフレームレートの第 2 映像データに変換する撮像装置から出力された前記第 2 映像データを受信して、当該第 2 映像データの再生処理を行う映像再生装置の制御方法であって、前記撮像装置は、前記第 1 映像データを前記第 2 のフレームレートの前記第 2 映像データに変換する際に適用したフレームレート変換方法の種別を示す変換情報を前記第 2 映像データに付加し、前記映像再生装置の制御方法は、前記第 2 映像データを受信する受信ステップと、前記受信ステップで受信した前記第 2 映像データから前記変換情報を取得する取得ステップと、前記取得ステップで取得した前記変換情報から、前記第 2 映像データが前記第 2 のフレームレートに変換された場合に適用されたフレームレート変換方法を特定する特定ステップと、前記第 2 映像データに対して高画質化処理を施す画像処理ステップと、を有し、前記画像処理ステップでは、前記特定ステップで特定されたフレームレート変換方法に対応するパラメータを用いて前記第 2 映像データに対する高画質化処理を実行する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明によれば、撮像装置で撮影された映像を映像再生装置で再生する際、適切な高画質化処理が行われるので、より高画質な再生映像を視聴できる。